取扱説明書

駐車場チェーンゲート　GT－220

【販売会社】

創業30年　官公庁指名業者　防犯設備の販売・施工・保守

トーカイセキュリティ株式会社

☐ 神戸本社　神戸市長田区大橋町3丁目1番13号　TEL 078−643−1901

☐ 名古屋　名古屋市千種区今池南29番24号川島第１ビル　TEL 052−251−8748

☐ 大阪堺　堺市堺区南瓦町1番19号　ｸﾞﾗﾝﾋﾞﾙﾄﾞ堺東507　TEL 072−232−6440

【施工・保守会社】アクトテクニカ株式会社

〒564-0043　吹田市南吹田5丁目16番7号

TEL 06-6821-0110（代）　FAX 06-6821-0118

TEL 06-6821-0022 直通電話（24時間365日受付）

商品概要

テクノゲート　丸型GT－220は、2本の昇降ブロックをステンレスチェーンで連結し、モーターは駆動により上下動させ、自動車の出入庫を規制するものです。

手動作とリモートコントロールの操作が可能です。又、光電センサーの内蔵により、自動車の通過後自動的にチェーンを上昇させます。

本機には、主機と子機の区別があり、各種制御機械は主機側に内蔵しています。

安全を確保するセーフティ機構

① 警告灯

クサリの上昇、下降時に点滅しドライバーと歩行者に注意を促します。

② 夜間照明

夜間クサリを照らす自動点灯による照明です。

③ 衝撃吸収フック

衝撃を吸収し、車両や機器へのトラブルを最小限度にとどめるステンレス製の特殊フックです。

④ 非常解放スイッチ

緊急時には、スイッチでクサリを下ろすことが可能です。

⑤ 赤外線安全センサー

クサリが下がっている状態で、ゲート内に車両が停止した場合、クサリの上昇を待機させます。

クサリ上昇中でも、センサーが障害物を感知するとクサリは再び下降し安全を図ります。

セーフティー機構

●内蔵タイマー

車両でゲートを通過すると、自動的にタイマーが働き、設定時間が経過すればクサリは自動的に上昇します。クサリが下がっても車両がゲートを通過しない場合は、設定時間が経過すると自動的にクサリは上昇します。

●停電時

停電時はブレーキは解除され、クサリは自重で下降します。停電が解除されると元に復帰します。

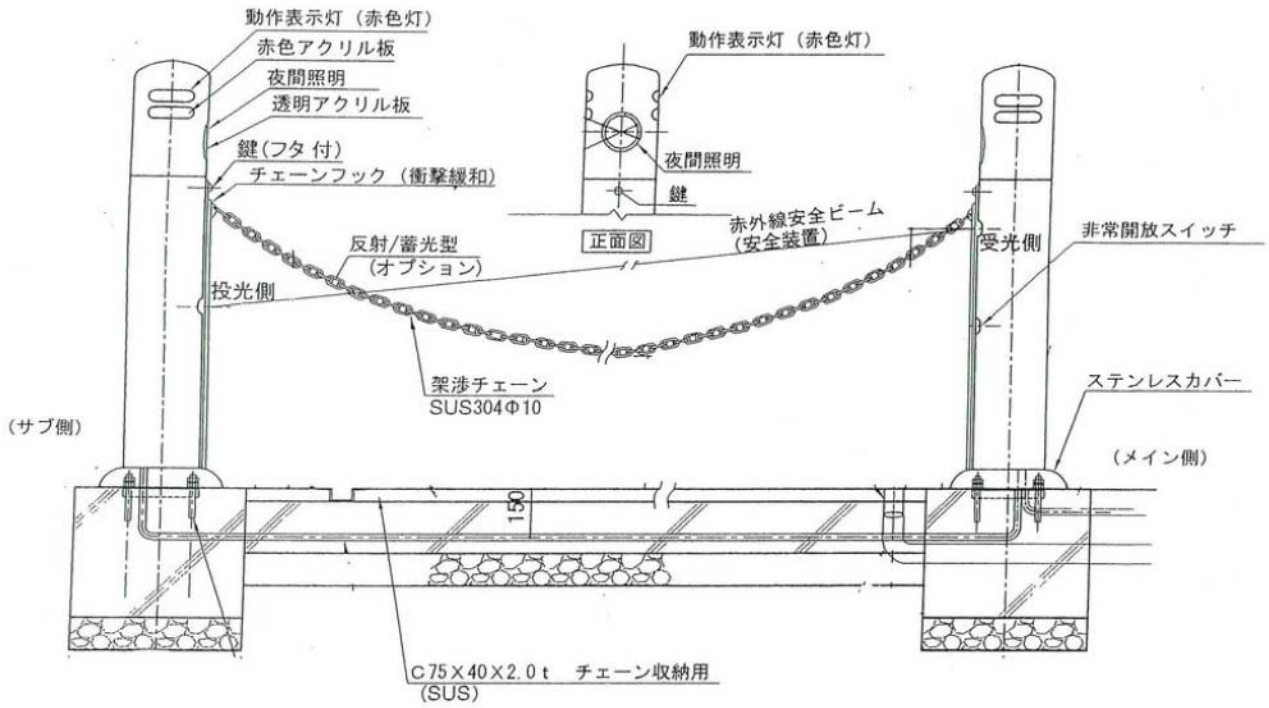
●共通仕様

電源・消費電力	AC100V　60Hz・50Hz
操作方法	リモコン・非常解放スイッチ
クサリ昇降時間	約4秒
駆動源	リバーシブルギャードモーター　40W　×2台
モーター起動時電流最大値	4A
モーター動作適正電圧値	100V±10V
リモコン操作可能距離	車内より約10m　（周囲の状況により異なる）

※別途 100V の電気引込工事が必要です。詳しくは弊社までお問合せください。

各部の名称

テクノゲート全体図　GT－220型（丸型）



Ⅰ.チェーンゲート【仕様概要】

1. 概要

- 本機は、マンション等の車両出入り口に設置し、不法侵入車両を制限できるように開発された製品です。
- 外観本体ケースはステンレス製です。ステンレスは錆びにくく、いつまでも美しい光沢と豪華さを維持できます。

2. 特徴

① ケースは上質のステンレス製です。
② クサリのジョイントが全て装置内に収納されています。
③ 機能をフロントに集中しましたので、美観に優れています。
④ 三方向に障害物があっても設置できます。
⑤ 衝撃吸収のフックでクサリを連結していますので、クサリに車が衝突しても本体及び車両の破損が少なくなりました。
⑥ 照明 ON/OFF 連動(開閉時)点灯及び手動　閉　又は自動　閉が選択出来ます。
⑦ チェーン上昇中にリモコンを押すことにより、再度下降します。
チェーン解放中に再度リモコンを押すことにより、開放時間が延長されます。(10～30 秒)
照明灯点滅において確認できます。
⑧ クサリ上昇中に安全センサーを遮光すると下降します。
⑨ 安全対策・非常時の対応は多様に組み込んでいます。(非常開放スイッチ付)

Ⅱ.チェーンゲート【機能仕様】

1.型式　　・・・・・・・チェーン上下駆動方式（両駆動方式）
　　【実用新案登録　2565177号】
2.駆動方式　・・・・・・・電動機・減速機・チェーン駆動による上下式
3.操作方式　・・・・・・・無線操作による全自動運転
4.作動時間　・・・・・・・全閉から全開までの時間→　約　4秒
　　車両通過後クサリが上昇し始めるまでの時間　→0～30秒まで調整可
　　（タイマー内蔵）
　　クサリが上がり始めてから全閉までの時間　→　約4秒
5.間口　　最大12m
6.機械構成

①	駆動関係	ハイポニックギャードモーター　単相　100V・60Hz・40W×2 コンデンサ起動型直流電磁ブレーキ付	1式
②	制御関係	①受信機・アンテナ ②制御装置（ゲートコントローラー） ③全開　全閉用リミットスイッチ	1式
③	操作関係	リモコン送信機（押しボタン一点式）	必要数
④	クサリ関係	10Φステンレス製	1式
⑤	安全装置関係	①フックにてチェーンが衝突した時衝撃を緩める ②スポットライト（夜間照明用・デーライト） ③非常装置（隠しスイッチにより強制下降） ④赤外線安全センサー	1式

7.送信機・受信機仕様

①	使用電波	320MHz
②	周囲温度	－10℃～　+50℃
③	作動距離	車内より　約　10m
④	操作時間	送信機のスイッチボタンを約1秒位押し続けてください
⑤	次回操作	送信機のスイッチを離してから約2秒後に前記操作を行ってください
⑥	送信機	DC3V　ボタン電池　CR2032
⑦	受信機	ダブルコンバージョン方式　AC100V・60Hz・3VA

8.ケーシング本体仕様　・・・・・・・・・・・・・・・・・・SUS304（＃600研磨仕上げ）

9.基礎材料（クサリ収納溝）・・・・・・・・・・・・・・・・75×40×5ステンレス製　1式

Ⅲ.仕様

内容・機種	角型	丸型
本体サイズ	□250×1500H	Φ220×1300H
本体重量（主機+子機）	113Kg	87Kg
電源	AC100V・60Hz・50Hz	
操作方法	キースイッチ・非常開放スイッチ・リモコンスイッチ	
チェーン昇降時間	約4秒	
駆動源	リバーシブルギャードモーター（ハイボニックドライブ）40W×2 台	
モーター起動時電流最大値	4A	
モーター動作時適正電圧値	100V±10V	
リモコンスイッチ送信機・受信機	株式会社富士製作所	
送信方法	FSK方式マイコン制御	
周波数	320MHz	
出力	リレー出力又はオープンコレクター	
使用電池	DC3V ボタン電池 CR2032	
電池寿命	約1年（1日4回使用）	
受信方式	ダブルコンバージョン方式	
受信感度	SG入力 0dBにおいてS／N 10dB以上（偏移 5KHz）	
応答速度	2秒以内	
リモコン操作可能距離	車内より約 10m（但し、環境により変化します）	
光電管センサー	サンクスN×5-M10RB	
クサリ	ステンレスクサリ 10Φ	
同調キャプタイヤ	VCTF－0.75×10 芯	
安全装置	衝撃吸収特殊フック	
	再進入下降制御	
	モーター保護回路内蔵	
警告灯	耐震電球 TA 110V 60W×2灯	
夜間照明	シールドビーム球 12V 40W×2灯	

●自動復帰回路

リモコンで下降操作を行った場合、車両通過後約8～10秒後にクサリが自動的に上昇します。
又、車両が通過しなかった場合も約8秒が経過するとクサリは自動的に上昇します。

●再進入下降指令

下降停止時に車両の進入があった場合には、光電センサーが反応し、下降停止状態を保持します。
通過を確認後に再度自動復帰動作を行います。

●警告灯・夜間照明灯

クサリ上昇・下降時には警告灯が点滅し、運転者・通行人等に注意を促します。
又、夜間には照明灯が自動点灯し、クサリを照らします。

●衝撃吸収特殊フック

車両がクサリに衝突した場合、衝撃吸収フックが破損し、車両やチェーンバリカー本体への破損を和らげます。

●停電時

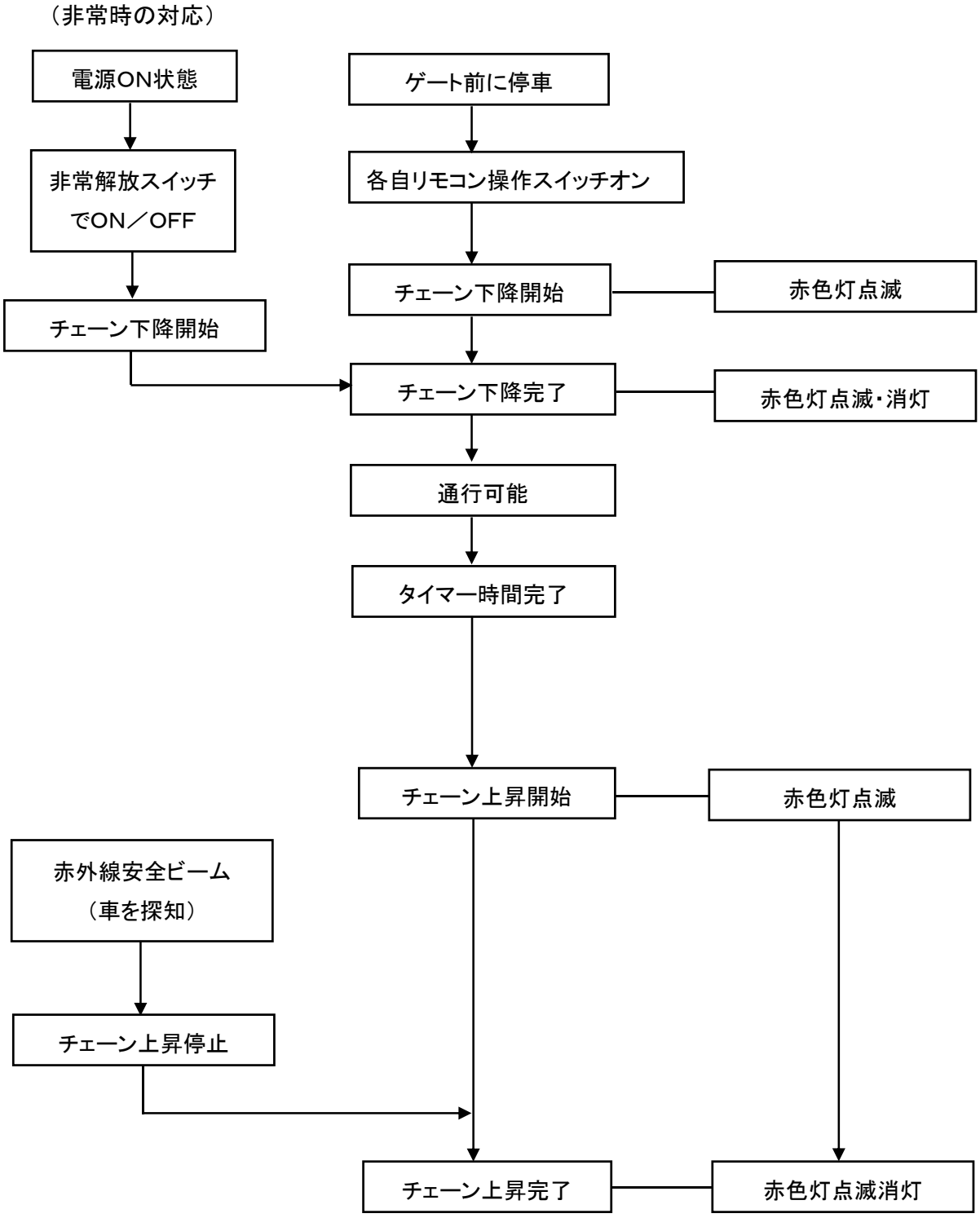
停電時はクサリは自重で下降します。入電時には自動的に上昇します。

使用上の注意

① リモコン操作を行う場合は、できるだけ近寄り、通行人の有無や危険な状態でないことを確認してから行うようにしてください。
② 遠隔操作を使用し遠方より操作する場合には、モニターTV等で視認し、人の有無や危険な状態でないことを確認してから行うようにしてください。
③ リモコン操作でクサリを下降させた場合、完全にクサリが下降し終わってから車両を侵入させて下さい。動作中に車を侵入させることは危険です。
④ リモコン操作でクサリを下降させた後、車両が通過しない場合でも自動的にクサリが上昇するため、クサリが下降したのを確認したら速やかに通過して下さい。
やむなく待機した場合は再度リモコンを操作し、通過するように心がけてください。
⑤ 何らかの理由で車を侵入させたときに自動的にクサリが上昇してきた場合は車両を停止させ、再度リモコン操作を行うよう心がけてください。
⑥ ゲート侵入中、クサリをまたいだ状態で車両を停止したり、再びバックしたりすることは危険ですのでやめましょう。
⑦ 早朝などゲート付近の混雑が予想されます。必ず前に待機している車両が通過したのを確認し、再度リモコンを操作してからゲートに侵入してください。
⑧ ゲート付近での事故を避けるため、車両の出入庫時の優先順位を取り決めておくことをお勧めします。2台同時にゲートを通過することは事故の原因となります。
⑨ チェーン収納の溝にはごみや泥が溜まりやすいため、定期的に取り除くようにしてください。
⑩ 光電スイッチにホコリなどがたまると、誤作動の原因になり大変危険です。定期的に掃除をするようにしてください。
⑪ 車両がゲートに直接衝突しないように、バリカーを片側に2本ずつ取り付けることをお勧めします。
⑫ 弊社の許可なしに勝手にゲート本体の改造等を行ったり、必要以上に本体内部への解体等を行うと、故障やトラブルの原因にもなりますのでおやめください。（弊社へご相談ください）
⑬ 前部カバーや頭部カバーを外し作業する際は、安全のため必ず電源をOFFにしてから始めて下さい。
⑭ 装置の維持管理が必要となりますので、弊社と必ずメンテナンス契約を締結してください。

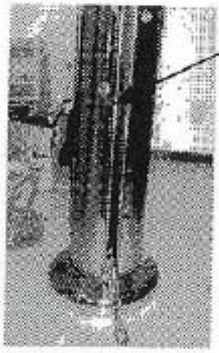
【動作・システム図】

（入場・出場）

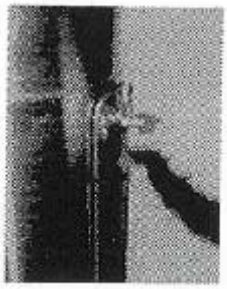


スリットレールの外し方

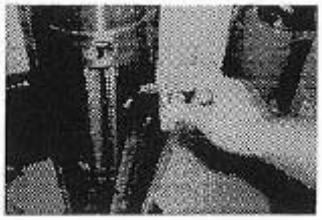
① チェーンを下げます。



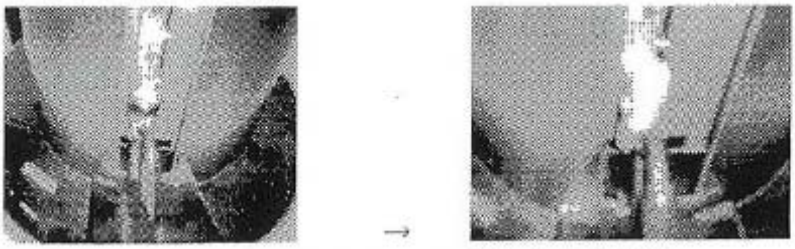
② 専用キーを反時計回りに、回します。



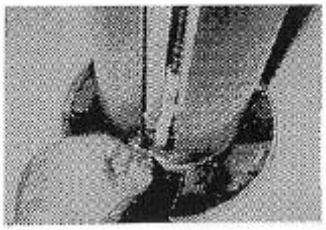
③ スリットレール上部を右斜め前に、引っ張ります。



④ スライダーのナットを外します。



⑤ フックを外して、チェーンをスリットレールの間から抜きます。

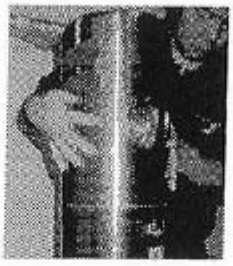


頭の外し方

電源のオン、オフや、電球の交換の時に、取り外しします。

① スリットレールの上部を外します。

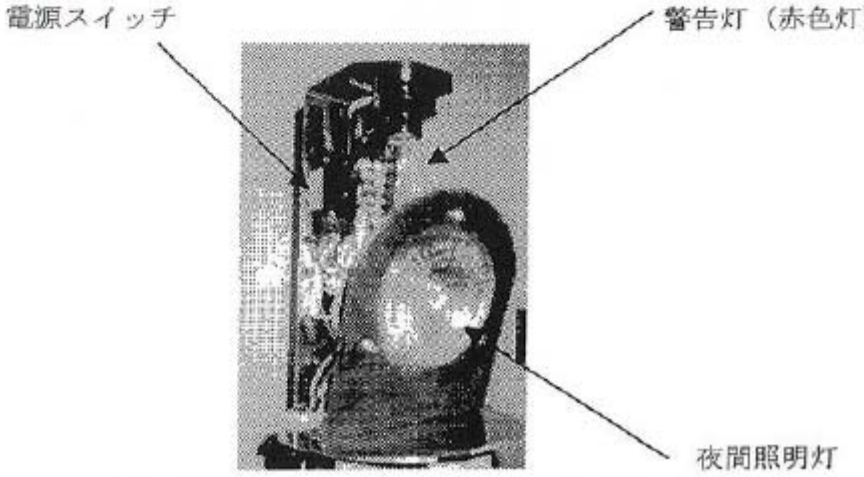
② 頭を時計回りに回します。



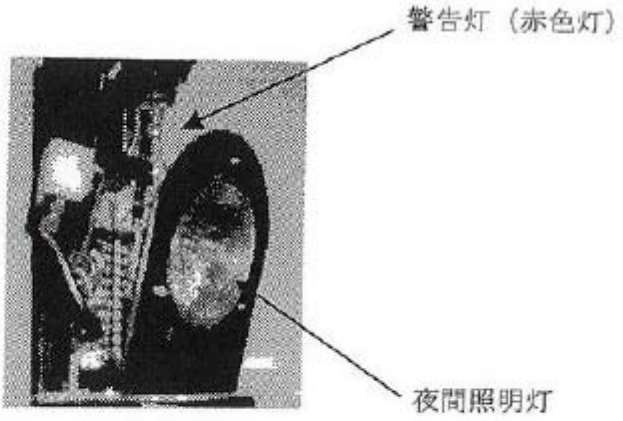
③ 頭を上に引っ張ります。

※ 頭を取り付ける時は、配線を傷つけない様に気をつけて取り付けて下さい。

頭の中身



メイン側（電源スイッチが入っています）

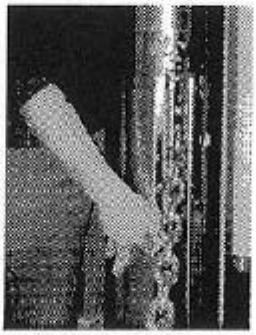


サブ側（電源スイッチはありません）

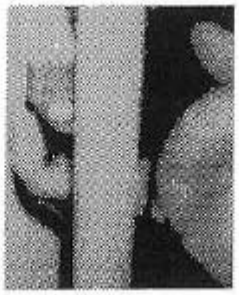
非常スイッチの操作

非常時にチェーンを開放したままに、しておきたい時に操作します。

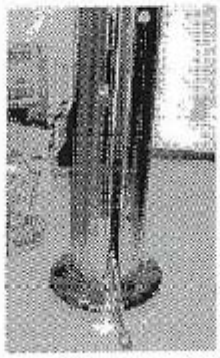
① 非常スイッチ穴に人差し指を上向きに入れます。



② 非常スイッチを指の腹で押さえ手前に引っ張ります。



③ チェーンが開放したまま停止します。



④ 非常スイッチを元に戻すと、チェーンが上昇します。(チェーン上昇開始まで約８秒かかります。また障害物センサーの前に立っているとチェーンは、上がってきません。)

フックの取り付け

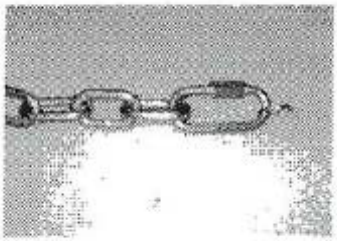
車の衝突事故などによりフックが切れた場合、予備のフックを取り付けることにより復旧することができます。

① あらかじめフックが切れた側のスリットレールを外しておきます。

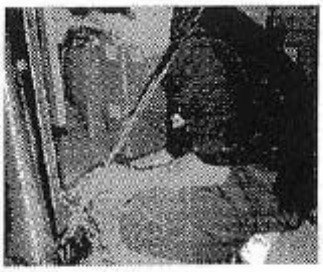
② チェーンは非常スイッチなどで、下げておきます。

③ シャックルのナットを緩めます。

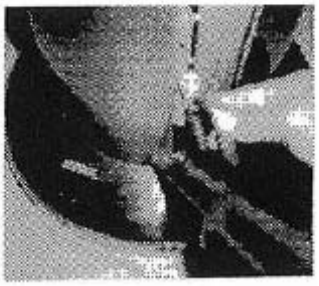
④ シャックルにフックを通し、シャックルのナットを締めます。



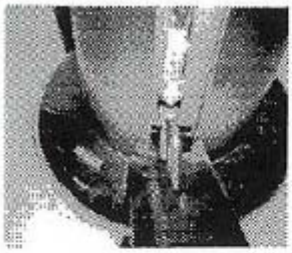
⑤ フックを取り付けたシャックルをスリットレールの隙間に通します。(スリットレールの下部を取り付けた状態で行うと作業し易くなります。)



⑥ シャックルに取り付けたフックをスライダーのボルトに引っかけます。



⑦ スライダーのボルトにナットを取り付けます。（堅く締める必要はありません）



⑧ スリットレールを取り付けます。